

Fuel Cell for Mekong Delta

～燃料電池プロジェクトニュースレター～

Dec 2018

今月のPHOTO

11月上旬に開始した、実証サイト、試験圃場でのワケギ栽培ですが、塩害により育成が思うように進まなかったため、一旦終了し、土壌改良の意味も含め、12月26日(水)にとうもろこしの種まきを行いました。

今回の試験栽培で、消化液を吸着させた炭を投入しすぎると塩害が起こることが分かりました。また、水道水の塩分濃度が思いのほか、高いことなどが分かりました。



↑とうもろこしの種まきを行う、山川先生とLinhさん

プロジェクトACTIVITIES

現在CTUで実施中のJICA CTUプロジェクトを訪問し、角田リーダー、國本業務調整と協議を行いました。また、同プロジェクトで実施中の修士課程の学生を対象に、藤本先生から「Dialogue with Sustainable Design for the Comprehensive Development of Lower Mekong Basin」のタイトルで本プロジェクトの紹介や藤本先生が日本で関わられている「日本で最も美しい村」連合の活動などを含めて、今後のメコンデルタをどのようにしていくべきかを考える事をテーマに特別講義を行っていただきました。

今後ともJICA CTUプロジェクトとは協力体制を続けていければと考えています。

文責:業務調整・中山

プロジェクトACTIVITIES

12月2日(日)から12月6日(木)まで、ロードマップグループの藤本先生に来越頂き、カントーにて調査を行っていただきました。今回は、カントー大学のメコンデルタ開発研究所のCan先生、De先生、環境学部のLoc先生らとの協議や、ドンタップ省の農業組合を訪問してインタビュー調査などを行いました。来月1月に実施予定のJCCでは今後のロードマップ策定へ向けた協議を行う予定です。



↑ドンタップ省農業組合訪問時。



↑CTUのCan先生、De先生との協議の様子



↑CTUのLoc先生との協議の様子。

プロジェクトACTIVITIES

12月24日(月)から26日(水)の3日間、HCMUTグループが実証サイトでのバイオガスエンジンテストを実施しました。今回は、ディーゼルとバイオガスを今後した燃料での実施を行いました。



↑HCMUTグループの作業風景。



↑JICA CTUプロジェクトの角田リーダー、國本調整員との協議の様子。



↑藤本先生の特別講義の様子。

今後のPlan

12月の短期専門家来越予定:

藤本(静大):1月2日から10日 北岡(九大):1月6日から9日

白鳥(九大):1月6日から9日、1月27日から29日

栗原(九大):1月27日から31日 渡邊(N.I.W.):1月27日から2月2日

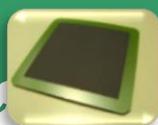
折島、安倍(Magnex):1月27日から2月1日

中塚、昌子、平川、佐藤(Daicen):1月25日から2月1日

今後のイベント:

2019年1月8日(火):JCC

1月後半:SOFC運転、新規曝気装置設置



Fuel Cell
for
Mekong Delta

